

通し番号	5117
------	------

分類番号	R04-01-11-1
------	-------------

作物別・作型別経済性標準指標を2022年度版に改訂しました	
<p>[要約] 「作物別・作型別経済性標準指標 2022年度改訂版」は、前回の2017年度改訂以降に調査した技術内容や販売価格等の変化を反映するとともに、新規の作物・作型を追加し、野菜は30作物67作型、普通作物は5作物6作型、花きは6作物8作型、果樹は7作物14作型の計48作物95作型を掲載しました。</p>	
神奈川県農業技術センター企画経営部	連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

新規就農や新たな経営部門の開始、規模拡大時の経営計画作成への活用を目的として、「作物別・作型別経済性標準指標」を作成している。前回の2017年度版改定以降の技術内容や販売価格、栽培状況等の変化を反映し、11回目となる2022年度改訂版に改訂する。

[成果の内容・特徴]

1 掲載している作物・作型の見直し

野菜は、栽培面積が減少している「イチゴ露地栽培」、「トマト（ロックウール養液耕）抑制栽培」を削除し、近年、栽培面積が増加しており、今後も観光農園として生産者の増加が見込まれる「高設イチゴ栽培」を新たに追加した（表1）。

果樹は、栽培面積が減少しているブドウの「巨峰有核栽培」、「赤系大粒有核栽培」、「デラウェア」を削除し、栽培面積が増加している「シャインマスカット」を新たに追加した（表1）。

花きは、新規に取り組む生産者が見られない「バラロックウール栽培」を削除し、企業的経営が増加している「パンジー・ビオラ」を新たに追加した（表1）。

以上の見直しにより、野菜は30作物67作型、普通作物は5作物6作型、花きは6作物8作型、果樹は7作物14作型の計48作物95作型を掲載した。

2 栽培体系、販売先、栽培地域の見直し

生産者の実態を反映し、「スイカトンネル栽培」、「キュウリ半促性栽培」、「キュウリ抑制栽培」は購入苗を利用した栽培体系に変更した。また、「促成トマト栽培」は市場出荷100%から市場出荷と共同直売所で販売する経営に変更した。

三浦型露地野菜類型として掲載していた「ネギ秋まき栽培」は、三浦半島地域での栽培面積が減少する一方、他の地域で生産者が見られることから、新たに調査し、露地野菜類型の指標として掲載した。その他、使用資材や栽植様式等技術内容の変化を反映し、変更した。

3 粗収益と経費の動向

野菜、果樹、花きの各作物・作型の粗収益、経営費、農業所得について部門ごとの平均

値を算出し、2017年度版に対する2022年度版の比率を表に示した。粗収益は、野菜、果樹については微増、花きは市場価格の低下により約1割減少した。経営費はすべての部門で増加しており、農業所得は減少していた(表2)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 「作物別・作型別経済性標準指標 2022年度改訂版」は、県内市町村およびJA、県関係機関に配布する。
- 2 上記指標に掲載している数値は、一定の取り決めで算出したもので、生産者の経営成果とは異なる。

[具体的データ]

表1 削除、追加した作物・作型

	作物・作型名	現 状	出荷・販売	出荷販売時期
削 除	イチゴ露地栽培	栽培面積の減少	直売	5月上旬～下旬
	トマト(ロックウール養液)抑制栽培	長期多段どり栽培が主流となり抑制栽培が減少	市場(個選・個販)	10月上旬～12月下旬
	巨峰有核栽培	栽培面積の減少	直売・共同販売	8月中旬～9月中旬
	赤系大粒有核栽培	栽培面積の減少	直売・共同販売	8月中旬～下旬
	デラウェア	栽培面積の減少	直売・共同販売	8月上旬～中旬
	バラロックウール栽培	新規で取り組む生産者の減少	市場(個選・個販)	9月上旬～7月中旬
追 加	高設イチゴ栽培	栽培面積が増加 今後も増加見込み	観光・直売	12月下旬～5月下旬
	シャインマスカット	栽培面積が増加 今後も増加見込み	直売	8月下旬～9月中旬
	パンジー・ビオラ	企業的経営の増加	市場(個選・個販) ・共同直売所	10月上旬～12月中旬

表2 2022年度版値/2017年度版値の比較 (追加削除した作物・作型を除く)

部 門	平均した作物・作型数	粗収益	経営費	農業所得
野 菜	30作物 66作型	106%	118%	94%
果 樹	7作物 13作型	102%	109%	97%
花 き	5作物 7作型	91%	115%	59%

[資料名] 令和4年度試験研究成績書

[研究課題名] かながわの農業経営を安定強化するための調査研究
作物別・作型別経済性標準指標の改訂

[研究期間] 2021(令和3)年度～2025(令和7)年度

[研究者担当名] 北畠晶子、松村知子、水澤莉奈

[協力・分担関係] 普及指導部、横浜川崎地区事務所、北相地区事務所、三浦半島地区事務所、足柄地区事務所